

Dr. Henry Welsh の訃

南亞連邦国科学および工業研究会国立研究所のヘンリー・ウエールズ博士が昨1997年1月10日急逝された。享年61歳であった。博士は1961年より南アフリカ各地の淡水産藍藻類の分類学的研究をして、多くの新種を続いて報告され、また、*Thiochaete* (1961) および *Anabaenella* (1964) の2新属を記載報告された。

(梅 崎 勇)

学 会 録 事**会 員 移 動**

(昭和42年11月1日から昭和43年3月31日まで)

新 入 会 (14名)

住 所 変 更 (13名)

退 会 (3名)

亀谷嘉夫, 三谷文夫, 高木庄治

昭和42年度庶務会計報告

(昭和42年4月1日から昭和43年3月31日まで)

庶 務 報 告

1. 昭和42年4月1日 在京編集幹事として山岸高旺氏が委嘱される。
2. 昭和42年4月4日 東京全海苔会館で懇談会を開催。出席者42名。
3. 昭和42年4月25日 「藻類」第15巻第1号発行。
4. 昭和42年8月25日 「藻類」第15巻第2号発行。
5. 昭和42年10月13日 神戸大学学生会館中ホールで、午後12時30分から評議員会、午後5時40分から同会館大ホールで総会開催。出席者83名。山田名誉会長の「藻類学研究半世紀を顧みて」と題する講演の後、6時40分から次の順序で議事が進められた。議事 1) 議長に広瀬弘幸氏を選出。2) 庶務会計報告。3) 協議決定事項 イ. 予算案可決。ロ. 会則の一部改正: 外国会員の会費(第8条), 会員に対するバックナンバー代と非会員の購読料(付則第5条)を明文化することに決定(会則欄参照)。
6. 昭和42年12月31日 東北地区評議員吉田忠生氏, 地区外へ転出のため退任。幹事鬼頭

鈞氏，移動のため任を解かれる。

7. 昭和43年1月1日 中沢信午氏，繰上げ当選で東北地区評議員に就任。

会 計 報 告

収 入 の 部		支 出 の 部	
	円		円
会 費	176人(287件) 145,578	印刷費	Vol. XV-1 108,650
臨時会費	7人(7件) 2,660		Vol. XV-2 95,850
バック	本誌 686冊 96,819		Vol. XV-3 73,150
	Index 105冊 52,999	発送費	Vol. XV-1 6,020
利 子	普通預金 1,378		Vol. XV-2 5,670
寄 付 金	中野治房氏より 3,000		Vol. XV-3 5,195
	第15回総会剰余金 20,000	通 信 費	20,360
瀬川・神田別刷売上代金	3,030	消 耗 品 費	3,289
		幹事手当(謝礼を含む)	19,000
		外国為替換金手数料	660
小 計	325,464	小 計	337,844
前年度繰越金	100,631	次年度繰越金	88,251
総 計	426,095	総 計	426,095

本学会懇談会

日本水産学会年会を機に昭和43年4月2日午後5時半から、日大農獣医学部1号館第2食堂において開催された。会は山岸高旺幹事の司会によって始まり、時田会長の挨拶の後、山田名誉会長の音頭でビールの乾杯をし、恒例の日本北端南端から出席の方々のスピーチもあったが、今回は日本で開催の望まれている国際海藻シンポジウムの持ち方について話題が集中し、多くの方々から種々意見がのべられた。また、藻類の Strain の保存について渡辺篤氏、服部明彦氏等からの要望もあった。その後、カラーズライドによる近江彦栄氏のチリ訪問のお話をきいて8時半閉会した。

出席者(43名, ABC順, 敬称略)

秋山和夫, 荒木 繁, 新崎盛敏, 有賀祐勝, 藤山虎也, 原口和夫, 服部明彦, 岩本康三, 岩崎英雄, 岩崎尚彦, 金子 孝, 片田 実, 加崎英男, 喜田和四郎, 小林 弘, 今野敏徳, 正置富太郎, 三浦昭雄, 中村義輝, 大房 剛, 近江彦栄, 大西 博, 大野正夫, 斎藤英三, 斎藤祐一, 斎藤譲, 桜井武磨, 佐々田 憲, 里見雅子, 佐藤重勝, 瀬木紀男, 杉山英之, 須藤俊造, 館脇正和, 寺本賢一郎, 時田 博, 徳田 広, 土屋靖彦, 渡辺 篤, 簗 熙, 山岸高旺, 山田幸男, 吉崎 誠

役員移動

このたび本会幹事鬼頭鈞氏は移動のため任を解かれた(12月31日付)。

このたび山本弘敏氏が幹事を委嘱された(4月1日付)。

